

Webサイト制作の手順の教科書

00.依頼を頂いた

打ち合わせ



01.ご提案（企画をまとめる）

- ・企画書（企画案）
- ・サイトマップ
- ・見積り

※場合のよっては「ワイヤーフレーム」の用意が必要な場合もあります。

制作依頼を受諾「制作スタート」



02. デザインに必要な素材の作成

「必要な素材」

- ・ロゴ
- ・ピクトグラム
- ・アクセスマップ
- ・写真（加工・撮影・収集）
- ・原稿
- ・その他（SNSやjQueryの動きの素材等々…）

03. デザインラフの作成



※必要に応じて「PCのデザイン」だけでなく「スマホ・タブレット」の素材も用意

ソフトについて



Photoshop



Illustrator



XD

04.コーディング

```
1 <!doctype html>
2 <html lang="ja">
3 <head>
4 <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1.0">
5 <meta name="format-detection" content="telephone=no">
6 <meta charset="UTF-8">
7 <title>Samplesdl株式会社</title>
8 <meta name="description" content="当社はお客様に「モノづくり」職人として、全力のお手伝いをし
9 <meta name="keywords" content="Samplesdl, Mamoma, DEAUアカデミー">
10 <script src="https://ajax.googleapis.com/ajax/libs/jquery/1.7.1/jquery.min.js"></script>
11 <script src="https://samplesdl.me/wp-content/themes/samplesdl/js/jsmaster_01.js"></script>
12 <link rel="stylesheet" href="https://maxcdn.bootstrapcdn.com/font-awesome/4.1.0/css/font-
13 awesome_min.css" rel="stylesheet">
14 <link href="https://samplesdl.me/wp-content/themes/samplesdl/style.css" rel="stylesheet">
15 <link href="https://samplesdl.me/wp-content/themes/samplesdl/favicon.ico" rel="stylesheet">
16 <link rel="dns-prefetch" href="https://samplesdl.me/" />
17 <script type="text/javascript">
18   window._wpemojiSettings = {
19     "baseUrl": "https://s.w.org/images/core/emoji/11/svg/",
20     "ext": ".png",
21     "svgUrl": "https://s.w.org/images/core/emoji/11/svg/",
22     "svgExt": ".svg",
23     "source": [
24       "concatemoji": "https://samplesdl.me/wp-emoji-release.min.js?ver=4.9.9"
25     ]
26   };
27   !function(a,b,c){function d(a,b){var
28     c=String.fromCharCode;a.clearRect(0,0,k.width,k.height),a.fillText(c.apply(this,a),0,0);var
29     d=k.toDataURL();a.clearRect(0,0,k.width,k.height),a.fillText(c.apply(this,b),0,0);var
30     e=k.toDataURL();return d==e}function f(a){var
31     b;if(!!!!!.fillText) return!1;switch(l.textBaseline="top",l.font="600 32px Arial",a){case"flag"
32     (b=d([55356,56826,55356,56819],[55356,56826,8203,55356,56819]))&&
33     (b=d([55356,57332,56128,56423,56128,56418,56128,56421,56128,56430,56128,56423,56128,56447]),
34     [55356,57332,8203,56128,56423,8203,56128,56418,8203,56128,56421,8203,56128,56430,8203,56128,56
35     128,56447]),!b):case"emoji":return b=d([55358,56760,9792,65039])}
36   }
37   f(a)
38 }</script>
```

HTML

```
a{
  color: #333;
  text-decoration: none;
}
a:hover{
  color: #999;
}
a:link{}
a:visited{}
a:active{}

body {
  font-size: 100%; /* IE */
  font-family: "ヒラギノ角ゴシック Pro W3", "Hiragino Kaku Gothic Pro",
  "Meiryo", "MS Pゴシック", sans-serif;
}
html/**/body {
  font-size: 16px; /* Except IE */
}

body {
  -webkit-text-size-adjust: 100%;
}

/* Content
-----*/
body {background: url("images/bg01.gif");}
```

CSS

コーディングの手順 STEP01

【素材の確認】

ポイント！

- ・ロゴ
- ・ピクトグラム
- ・写真
- ・原稿
- ・その他（SNSやjQueryの動きの素材等々…）

コーディングの手順 STEP02

【マークアップ】

【マークアップ・HTMLファイルの作成①】

「!doctype html」「html」「head」「body」等骨組みのタグを整える



【マークアップ・HTMLファイルの作成②】

「h1～h6」「p」「ul,li」「img」「a」等の基本タグで「原稿」と「画像」をマークアップ



【マークアップ・HTMLファイルの作成③】

「header」「nav」「main」「section」「footer」等のセクションの部分をマークアップ



【マークアップ・HTMLファイルの作成④】

デザインに合わせて「div」や「span」を追加して「id=""」「class=""」を付けていく



【マークアップ・HTMLファイルの作成⑤】

検証ツールを上手く使いましょう。

◆参考サイト

<http://www.html lint.net/html-lint/html lint.html>

※最初は思い通りにCSSと連動するのは難しいかもしれませんので、元に戻せるようにまめにバックアップを取っておきましょう。

コーディングの手順 STEP03

【CSSでデザインをする】

【CSSの記述①】

リセットCSSの設定

※CSSを上手くコントロールするためにリセットCSSを設定しましょう。またリセットCSSは育てていきましょう。



【CSSの記述②】

セレクタ(selector)の記述を先にしてしまいましょう。

例:#header header h1{} 点数計算とセレクタの記述ルールに気を付けましょう。



【CSSの記述③】

後はひたすらプロパティを書いていきましょう。

コツはデザインの上から作成していきましょう。

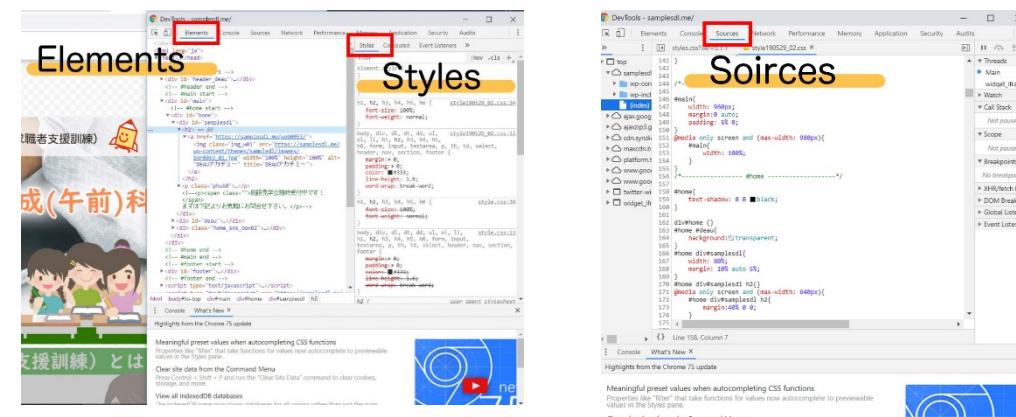
※セレクタをマークアップと同じ上から書くことによって間違い探しがラクになります。

※リテイク(変更・修正)に強いコードを意識して、「後から使うかも…」のセレクタまで記述しておくと良いでしょう。

ソフトについて



Dreamweaver



デベロッパーツール

【CSSの記述④】

スマーフォン対応「メディアクエリ」を足していきましょう。

デベロッパーツールのシュミレーターなどを使って、実機検証を行っていきましょう。



【CSSの記述⑤】

・SNSやjQueryの埋め込みは最後に行うのがコツ

※サーバーにUPしないと動かないものもありますので、最後に取っておきましょう

※最初は思い通りにCSSと連動するのは難しいかもしれませんので、元に戻せるようにまめにバックアップを取っておきましょう。

コーディングの手順 STEPO4

【サーバにテストアップ】



ここでリンク切れや画像の確認・ブラウザやデバイス確認をしましょう。

コーディングの手順 STEP05

【納品】



でも納品してからも運営というサポートがありますので準備をしておきましょう。